

TOTO

リモデル便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
--	------------------	--	---------------------

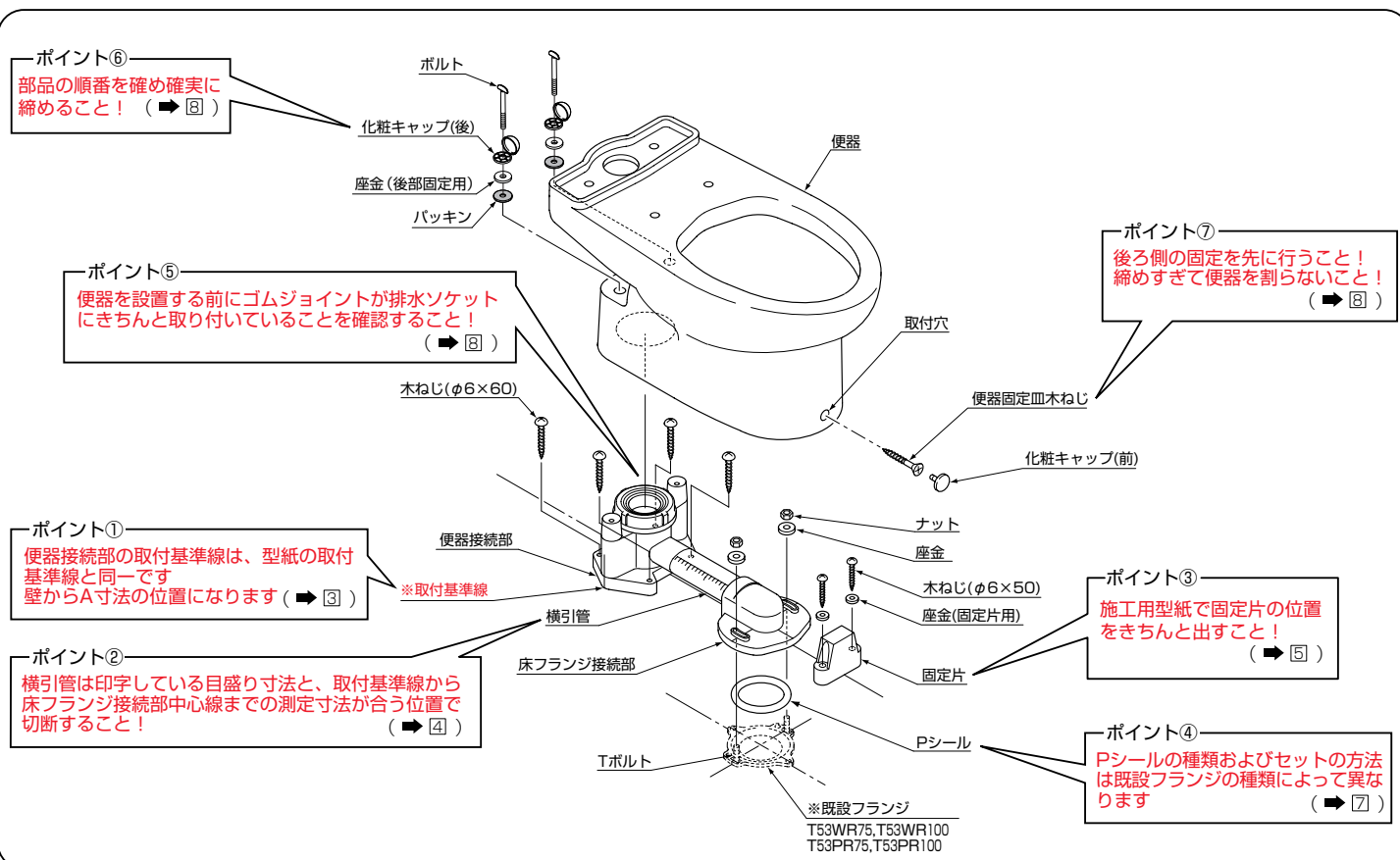
注意	
	陶器に衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらし、財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う 水圧でフィルターが飛び出してくることがあります。

2 同梱部品の確認

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

名 称	個数	略 図	備 考
便器	1個		
便器接続部 (ゴムジョイント付き)	1個		補修品番： HH02002 (排水アジャスター3部品)
横引管	1個		TH696-1 (横引管のみ)
床フランジ接続部	1個		補修品番：TH633
金属フランジ用	1個		補修品番：TH633-3
樹脂フランジ用	1個		
固定片	1個		
皿木ねじ	1個		φ5.8×56
木ねじ (排水ソケット用)	4個		φ6×60
木ねじ (固定片用)	2個		φ6×50
座金 (固定片用)	2個		φ13
Tボルト	2個		
座金	2個		φ22
ナット	2個		
施工用型紙	1個		
施工説明書	1個	本 紙	
化粧キャップ (前)	1個		補修品番：H260
化粧キャップ (後)	2個		
ボルト	2個		
座金 (後部固定用)	2個		φ22
パッキン	2個		

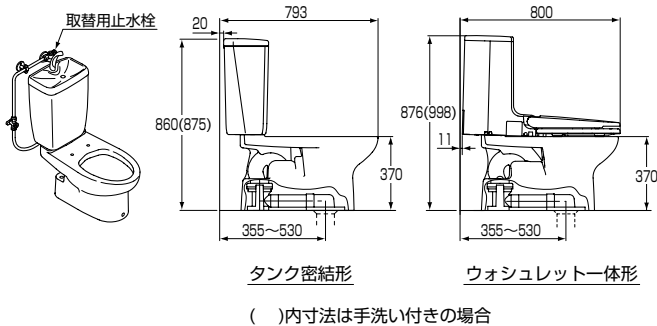
3 各部の名称と施工のポイント



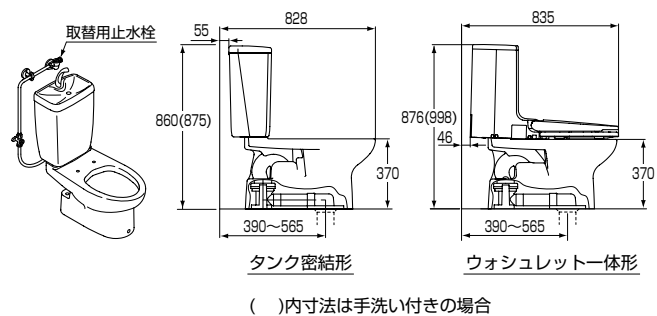
4 便器施工完成図

〈取替用止水栓がタンクと接触しない場合〉

(単位: mm)



〈取替用止水栓がタンクと接触する場合〉



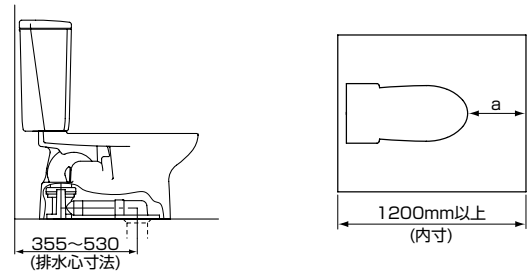
(注) C370からの取り替えの場合、排水心が壁から540mmにあるため、タンクと壁のすき間は密結形便器が30mm、ウォシュレット一体形便器が21mmとなります。

5 施工前のご注意

(単位: mm)

1. 取替対応可能排水心寸法

2. トイレブース奥行き必要寸法



- 注1. 取り替え前の便器の排水心が355mm~530mmの範囲であることを確認してください。
- 注2. 止水栓取付位置がタンクの裏側にありタンクと接触する場合は、便器を壁から離す必要があるため、対応可能排水心ならびにトイレブース奥行き必要寸法が異なります。
- 注3. a寸法は標準400mmとなっておりますので、この寸法を確保できない場合は、狭くなることを事前にお客様にご了承いただいたうえ、設置願います。
- 注4. ドアの開閉に支障のないことをご確認ください。

6 取替用給水金具(別売)の使用可能範囲

別売でC14、C21、C420の取替用給水金具を準備しています。それらの使用可能範囲は下図の範囲内(斜線、■)に給水取り出しセンターがある場合です。ただし、上記3品番以外の便器からの取り替えの場合は、別途現場手配いただくことになります。

■ 止水栓とタンクが接触しない範囲
斜線 止水栓とタンクが接触する範囲

リモデル便器	タンク密結形				ウォシュレット一体形	
	一般地用タンクの場合 ※タンクの給水位置がタンクの底面にあるタイプ		寒冷地(流動)タンクの場合 ※タンクの給水位置がタンクの側面にあるタイプ			
既設便器	手洗いなし	手洗い付き	手洗いなし	手洗い付き	手洗いなし	手洗い付き
C14、C21	TS91FU (取替用止水栓)		TS791F1U (取替用止水栓)		TS91F1U (取替用止水栓)	
			『左記一般地用タンクの場合と同様』			
C420	取替用給水金具(別売)は不要です。 止水栓の向きを上→下に変えて、給水フレキホースにつないでください。		『現場調達』		取替用給水金具(別売)は不要です。 既設止水栓を外して、機能部側同梱の止水栓と交換のうえ、給水フレキホースにつないでください。	

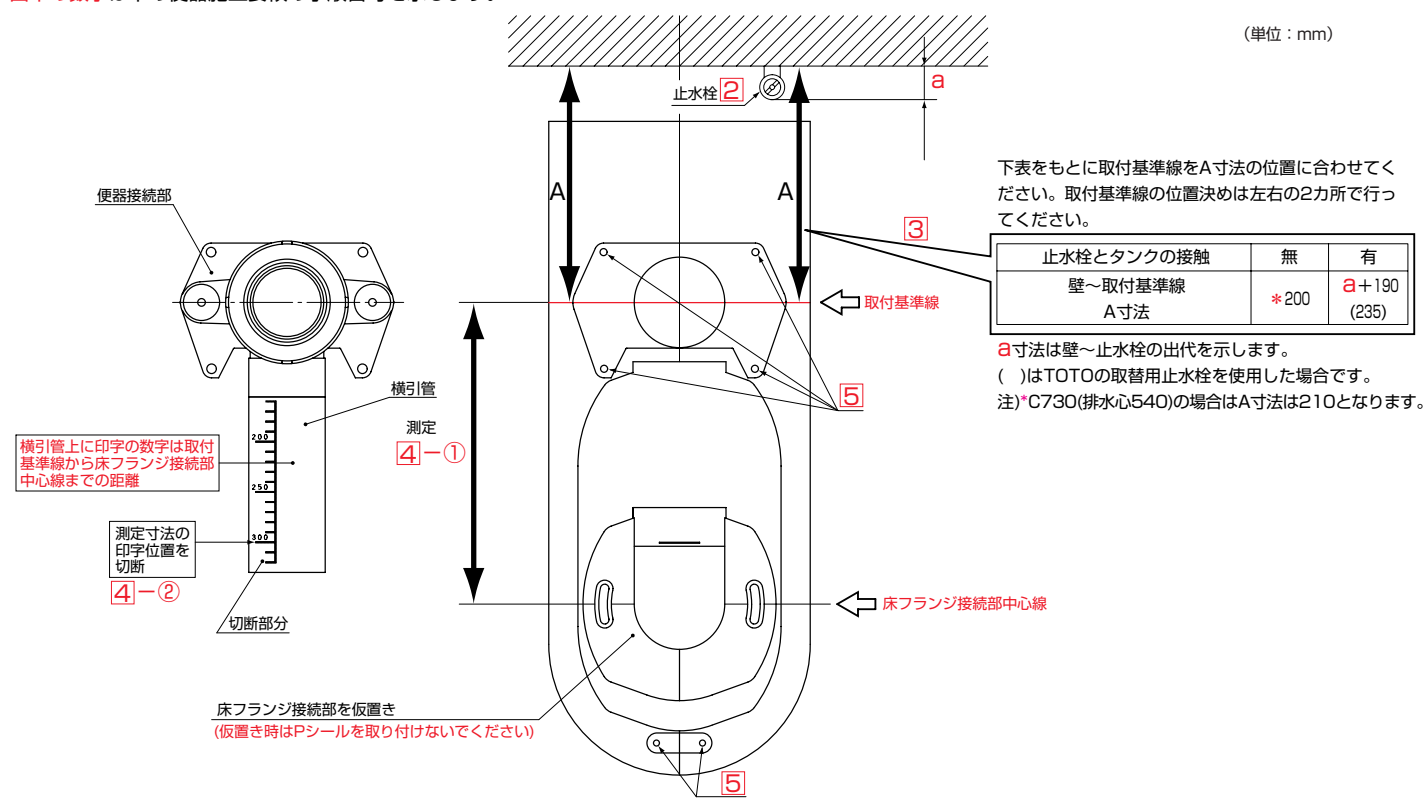
裏面につづく➡

7

施工用型紙と排水アジャスターの位置関係

同梱の施工用型紙は、排水アジャスターの横引管の切断位置を決めるのに用います。また、排水アジャスターの便器接続部と便器固定片の木ねじのけがきにも使用できます。

図中の数字は下の便器施工要領の手順番号を示します。



8

施工要領

便器の施工、排水アジャスターの組み立ては便器同梱の施工用型紙をご利用ください。また、取替用止水栓の施工に当たっては、取替用止水栓の施工説明書をご覧ください。

① 既設便器の取り外し

- 既設のタンクと便器を取り外し、Pシールをきれいに取り除く。その後、便器の中心線を床にけがく。

② 取替用止水栓の取り付け

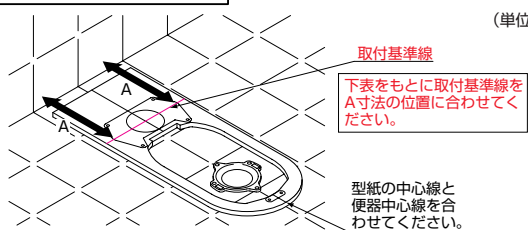
- 既設の止水栓を取り外し取替用の止水栓を取り付ける。

* 別途現場手配の場合は止水栓の位置、前出寸法を確認してください。

30mmにしてください。

③ 取付基準線の位置合わせ

(単位：mm)



止水栓とタンクの接触	無	有
壁～取付基準線 A寸法	*200	a+190 (235)

a寸法は壁～止水栓の出代を示します。

()はTOTOの取替用止水栓を使用した場合です。

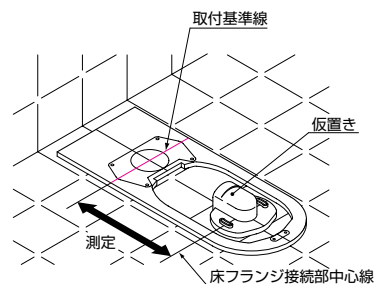
注)*C730(排水心540)の場合はA寸法は210となります。

④ 横引管の切断

① 取付基準線から床フランジ接続部中心線までの寸法測定

既設フランジの上に、床フランジ接続部を仮置きし、取付基準線と床フランジ接続部中心線との寸法を測定する。

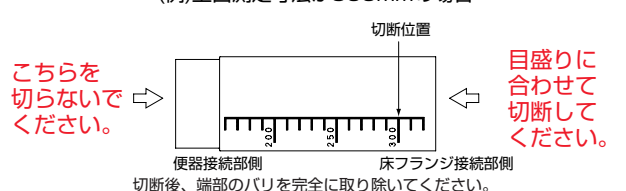
このとき、Pシールは取り付けしないでください。



② 排水アジャスター横引管の切断

横引管上に印字している目盛り寸法と測定寸法が合う位置で横引管を真っすぐに切断する。切断後、端部のバリを完全に取り除く。

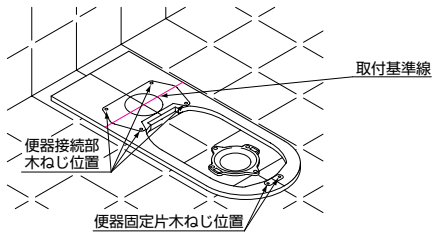
(例) 上図測定寸法が300mmの場合



(注) 上図測定寸法が155mmの場合、横引管は不要です。便器接続部と床フランジ接続部を直接つないでください。

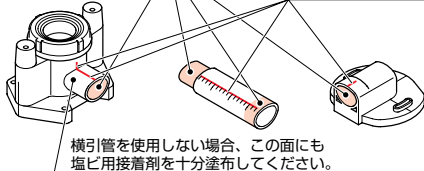
⑤ 木ねじ穴のけがき、下穴あけ

■取付基準線から壁までの寸法の位置決めを行った排水アジャスターの便器接続部と便器固定片の木ねじ位置をけがいて、下穴をあける。



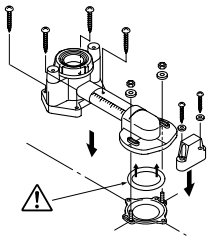
⑥ 排水アジャスターの組み立て

- ①塩ビ用接着剤を十分塗布する。
- ②各ラインを合わせるように組み立てる。

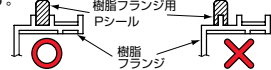


注意
横引管は最後まで、きちんと押し込む。接着が不十分ですと水漏れの原因になります。

⑦ 排水アジャスター、便器固定片の取り付け



注意
Pシール取り扱い上の注意
既設の床フランジのタイプに合わせ、金属フランジ用Pシールまたは、樹脂フランジ用Pシールをお使いください。
なお、TOTO樹脂フランジのように溝のあるタイプは先にフランジの溝にPシールをセットしてください。
※溝にきちんとおさまっていないと水漏れするおそれがあります。

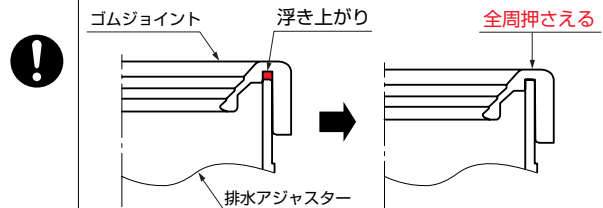


⑧ 便器の取り付け

■便器排水口および排水アジャスターの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水アジャスターに差し込む。

注意

便器を取り付ける前に、ゴムジョイントが排水アジャスターにきちんと取り付けられていることを確認する。きちんと取り付けしていないと水漏れするおそれがあるので必ず、ゴムジョイントを押さえ込んで便器を取り付ける。



手順1
手締めでボルトを締め付けてください。
手締め用のボルトなので、工具での締め付けはしないでください。
工具を使って締め過ぎると、便器接続部や便器が破損し、水漏れやけがをするおそれがあります。

手順2
皿木ねじを締めてください。
最後の締め増しは手締めにより行い便器を割らないように注意してください。

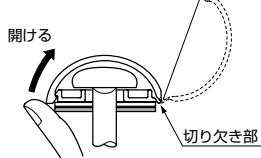
注意

便器後部の固定を必ず先に行うこと
前側の固定を先にすると便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れするおそれがあります。

⑨ 化粧キャップ付きボルトの構造

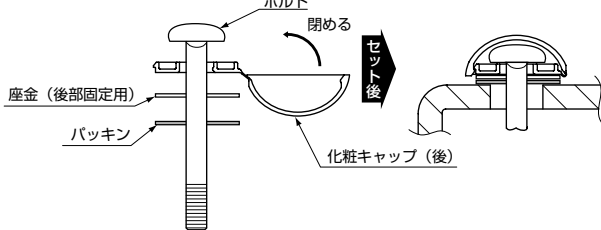
⑨-1 取り付け

①最初に化粧キャップを開ける。
開け方は、ボルトを手で持ち切り欠き部をよけて化粧キャップ(後)の下部を矢印の方向に指で押し上げる。



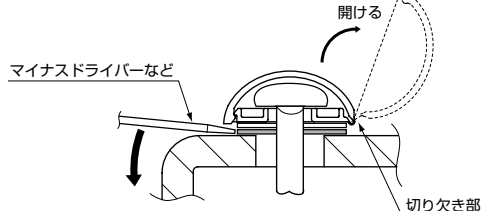
②ボルトを取り付ける前に、座金(後部固定用)とパッキンの順番を間違えないで取り付け。

③ボルトを取り付けたあとは、化粧キャップ(後)を矢印の方向に曲げて、「パチッ」と音がするまで押し込む。



⑨-2 取り外し

■施工後にボルトを外すときは、マイナスドライバーなどを使用し、化粧キャップ(後)の切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開ける。



⑩ タンクの取り付け

■タンクの取り付けに当たっては、タンクに付属の施工説明書に従う。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

■便器下部と床のすき間に掃除の際の水や小水が入り込みますと、床シミの原因となりますので、便器下部周囲に防カビ性の透明シリコンシーリング剤を塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。

